

| 科目区分 | 教養科目 | 授業科目名 | 英語 I | | 科目コード | 25L016 | 担当者 | 関口 良嗣 | | | 担当形態 | 単独 |
|----------|------------------|-------|-----------------|------|-------|--------|-----|------------------------------|------|---------|------|----|
| 対象学科・コース | 生活創造学科 地域未来創生コース | 配当年次 | 1年次 | 開講学期 | 前期 | 単位数 | 1 | 必修・選択の別 | 必修 | 免許・資格要件 | | |
| 授業形態 | 演習 | 履修条件 | 実務の経験を有する教員担当科目 | | | | | 教育職員免許法 施行規則に定める 科目区分等 | 科目区分 | | | |
| | | 該当 | | | | | | 科目に含める ことが必要な 事項 | | | | |

| | | | |
|-------|---|--------------------------|--|
| 授業の主題 | 高校レベルの基本から総復習し、地域社会やビジネス界の第一線で活躍できるように英語の能力を体得する。 | 課題等への対応 (フィードバックの方法等) | 小テスト（英単語）は毎回実施し、採点後コメントとともに返却する。文法についてはReview Testで記憶を更に定着させる。 |
| 授業の方法 | 文法および単語の予習を前提に、重要箇所についてはスライドやホワイトボードを用い説明する。生徒の積極的参加を促し、グループワークで応用編を学ぶ。 | アクティブラーニングの実施方法 | グループ単位でプラスアルファ問題にチャレンジする。文法やフレーズを用いショートスピーチにチャレンジする。 |

| 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 | 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 |
|-----|-----------------|--|------|-------------------------|---|
| 第1回 | 動詞と時制（1）（2） | 時制の概念を把握し、動詞の種類について予習し疑問点をまとめる | 第9回 | 不定詞（1）+ 長文チャレンジ | 名詞的用法と形容詞的用法を予習し疑問点をまとめる |
| 第2回 | 動詞と時制（3）；完了形（1） | 未来のことなのにwillではない場合もあることについて予習し疑問点をまとめる | 第10回 | 不定詞（2） | 副詞的用法とは何かをしっかり予習し疑問点をまとめる |
| 第3回 | 完了形（2）+ 長文チャレンジ | 現在を起点にした考え方と、過去を起点にした考え方について慣れておく | 第11回 | 不定詞（3） | 不定詞の意味上の主語とはどういう意味か、使役・知覚動詞と不定詞の関連について予習する |
| 第4回 | 助動詞（1） | 助動詞について、働きと意味について予習し疑問点をまとめる | 第12回 | 動名詞 + 小テスト | 動名詞とは何か、働きについて予習し疑問点をまとめる。第7回から第11回までの重要なポイントの総復習 |
| 第5回 | 助動詞（2） | いつも見る助動詞の他の意味・使用法について予習し疑問点をまとめる | 第13回 | 小テストレビュー + グループディスカッション | これまでの小テストの内容を再度確認する。ディスカッションのための時事テーマを選んでおく |
| 第6回 | 小テスト + 長文チャレンジ | 第1回から第5回までの重要なポイントの総復習 | 第14回 | 時制の一致と話法（1）（2） | Option 3及び4の時制の一致の概念と、話法について予習し、疑問点をまとめる |
| 第7回 | 受動態（1） | 行為者（する側）が省略されるケースについて予習し疑問点をまとめる | 第15回 | いろいろな構文 | Option 5のいろいろな構文の例文と意味を予習し暗記しておく |
| 第8回 | 受動態（2） | SVOOの受動態において、give型、buy型について予習し疑問点をまとめる | | | 事前・事後 学修時間 (分／授業1回) |
| | | | | | 45分／授業1回 |

| | | | |
|-------------------------|---|----------------|---|
| 教科書 [書名／著者 名／出版社] | English Grammar 23 Lessons／前田道彦／(株)いいずな書店、English Grammar 23 Lessons : "Workbook"／前田道彦／(株)いいずな書店、記憶王が伝授する 場所法 英単語／青木健／三省堂 | 受講生への メッセージ | 中・高英語のうち、使える部分を効率的に学習できれば、思いのほかシンプルである事がわかり、やる気モードも最大化するでしょう。基礎的な英文を学習し、単語を入れ替える応用力を効かせれば、英語をツールとするビジネスパーソンとして注目されるでしょう。さあ、最初の一歩を共に歩み始めましょう。なお、後期コース終了頃までには英検2級が狙えます。 |
| 参考書 [書名／著者 名／出版社] | なし | | |

